

伝えたい 守りたい 風景があります

まちだより

特定非営利活動法人 まちづくり推進隊詫間 広報誌 2025 | 7



25
号



志々島からみた港まつりの花火

暑さも一段と厳しくなり、身近に自然環境の変化を感じる季節となりました。皆様にはお変わりなく、お過ごしのこととお察し申し上げます。

まちづくり推進隊詫間は創立14年を迎え、市民の皆様のご協力とご理解のもと活動が続けてまいりました。昨年、三豊市から推進隊の事業について厳しい評価があり、活動の根本的な見直しを求められることとなりました。

私共は、一般会員106名、賛助会員92名（6月1日現在）と多くの会員が積極的に参加し、これまでに数々の成果を築いてまいりました。

皆様には、地域密着のマルシェ開催、三豊市のご協力による健康講演会、粟島志々島の環境整備と魅力発信等々、町のにぎわいづくり、地域行事の発信、安心安全意識の向上と地域の活性化へ会員一丸となって取り組み、一定の評価をいただいていると自負いたしております。

本年もこれから、8月9日（土）の三豊たくま港まつり、10月から始まる瀬戸内国際芸術祭秋会期への参加、11月のたくま防災フェスタ等、主要事業が控えています。

令和8年度4月からは、今日までの事業基盤を柱に、三豊市地域戦略課と連携し、新たな事業を含め、取り組む所存でございます。今まで以上に多くの皆様にご参加いただき、新たな一歩を進めてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人
まちづくり推進隊詫間
理事長 猪兒 勇二



花と浦島イベント実行委員会



三野保育所の
花摘み体験

松崎小学校の
花摘み体験

かわいい花
見つけたかな？

詫間小学校の
花和紙体験

ワンちゃんたちも
ご機嫌でした！！

花和紙体験学習・幼保園児の花摘み体験・一般入園（4月・5月）

今年も4月下旬のフラワーパークは、町内の小学4年生による花和紙体験学習や、三豊市内の幼保園児の花摘み体験の可愛いお客様を迎え、開花シーズンの幕開けとなりました。1haに8000株の可憐に咲く白いマーガレット畑から瀬戸内海を望むと、粟島を始め多くの島々と共にクルーズ船の横断している姿や空を見上げれば、ブルーインパルスが飛行している姿に歓声が聞こえる日など、日々異なる風景が楽しめ、多くの方々に新たな思い出が刻まれたことと思います。

お花にとって気候も良く、予定通り5月中旬まで楽しむことが出来ました。シーズン中は県内外のみならず海外からも4600人を超える来場者があり、混雑緩和の交通規制や入園規制をお願いしておりましたが、皆さまのご理解とご協力のもと大きな混乱もなく無事に終えることが出来ました。

浦島太郎旗争奪少年少女スポーツ大会（バレーボールの部）

第39回を迎える地域振興イベントが、8月17日（日）に開催されます。子どもたちの健全育成を目的としたこの大会では、毎年、子どもたちの熱戦が繰り広げられます。今から活躍が楽しみです！



第51回 紫雲出山桜まつり 令和7年3月25日（火）～4月13日（日）

今年の桜まつりは、天候に恵まれ、桜の開花こそ少し遅めでしたが、その分長く楽しめる期間となりました。

桜マルシェには地元の出店者の皆さんが集まり、キッチンカーも加わって華やかな雰囲気。初参加のお店もあり、スイーツや整体体験など、バラエティ豊かな出店が並びました。地域の魅力を発信でき、お客様にも新たな発見をしていただけたことが嬉しいです！

桜まつり協賛会では、いちごや柑橘、ジャム、カラフルなお菓子、お弁当など、幅広い商品を展開。昨年来てくださったお客様が「今年も来たよ！」と声をかけてくださったり、「先日は売り切れて買えなかったから」と翌日足を運んでくださったりと、温かいやりとりが生まれました。県外からのお客様はもちろん、地元の皆さんにも喜んでいただけるイベントを、これからも企画していきたいと思ひます。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします！



第54回 三豊たくま港まつり！

令和7年8月9日（土）17時30分～

昨年は多くの方にご来場いただき、大いに盛り上がりしました。今年もさらに楽しんでいただけるよう準備を進めています！

地元の子どもたちがウラシマサンバを披露する「子供総踊り」や、新チームも登場する「舞い舞サンバコンテスト」で熱気あふれるステージをお届け。観客の皆さんの応援で盛り上げてください！

ものまねショーには「とんねるずのみなさんのおかげでした」でおなじみの「古賀シュウ」さんが登場！なぎら健吾や武田鉄矢のものまねはもちろん、ユニークなネタで会場を楽しませてくれるでしょう！

祭りのフィナーレは、海上から打ち上げられる2000発の花火！迫力満点の光と音をご家族や友達と一緒に楽しみください。皆様のご協力に感謝し、最高の夏の思い出を作りましょう！



三豊市自治会連合会詫間支部 三豊市地区衛生組織連合会詫間支部 合同研修会

令和7年6月1日(日)
クリーンアップ作戦2025 in 鴨之越 ～海岸をきれいに、そして未来の里海へ～

鴨の越海岸にてNPO法人アーキペラゴと共催で「クリーンアップ作戦2025 in 鴨之越」が開催されました。三豊市自治会連合会詫間支部および三豊市地区衛生組織連合会詫間支部のほか、地元住民、一般参加者約60名が参加し、清掃活動を通じて、海の環境保全について考える一日となりました。干潮時間に合わせて鴨之越海演奏もあり岸へ移動しました。海岸には、**ペットボトルや発泡スチロール、漁具の破片など様々な漂着ごみ**が見られ、参加者は熱心に回収作業に取り組みました。

約2時間わたる清掃活動の後、アーキペラゴのスタッフによる「里海づくり」に関する講話を聞きました。「**なぜ海ごみを拾うのか?**」という問いを入りに、漂着ごみの発生源や現在深刻化する海洋ごみ問題の実態について説明がありました。特にミッドウェー島に漂着する使い捨てライターの約半数が、日本から流れ着いたものであること、アホウドリがイカと間違えてヒナにプラスチックごみを与えてしまうこと、そして死亡したヒナの胃の中から日本のごみが見つかった**事実**に参加者からは驚きの声が上がっていました。参加者は地域の自然と人との関わりについて理解を深め、海を守る意識を新たにしました。このクリーンアップ作戦は、身近な海の現状を知り、地域ぐるみで環境を守っていく意識を高める貴重な機会。今後も「**美しい瀬戸内海を次の世代へつなぐ**」活動を継続していきたいと考えています。



琴平小5年生、栗島で環境学習に参加

令和7年6月5日(木)
～清掃体験を通じて考える海の未来～

琴平小学校の5年生19人と共に栗島を訪れ、環境学習に参加しました。西浜海岸で清掃活動を実施。砂浜に落ちているごみ一つひとつ丁寧に拾っていきましました。海岸には多くのごみが打ち上げられていました。**目立ったのは、ペットボトルやビニール袋、細かなプラスチック片**などで、清掃後は、回収したごみを種類ごとに分別する作業を体験。

その後「**ごみはどこから来るのか**」「**どうすれば減らせるか**」、班ごとに話し合い、意見を発表しました。「海ごみリーダー」からは、海ごみの実態や、野生動物への影響について紹介されました。今日の行動が、遠くに住んでいる生物を助けることにつながると教えていただきました。

今回の体験を通じて、「**自然を大切に**する気持ち」や「**ごみを出さない意識**」の大切さを実感し、環境問題を自分のこととして考える貴重な一日となりました。



三豊市自治会連合会詫間支部及び三豊市地区衛生組織連合会詫間支部の令和7年度総会が開催され、令和6年度の事業、決算、監査報告並びに令和7年度事業計画、予算について協議し、承認されました。なお、本年度の新役員につきましては下記の通りです。

三豊市自治会連合会詫間支部 新役員				地区衛生組織連合会詫間支部 新役員			
役 名	氏 名	自 治 会		役 名	氏 名	自 治 会	
支 部 長	池田 善信	仁 老 浜		支 部 長	山田 高保	生 里	
副支部長	藤田 智士	池 尻		副支部長	石川 由美	浜 中	
副支部長	尾崎 伸司	高 谷		副支部長	宮本 昌臣	不 天	
理 事	三井 貴志	松 崎 西		理 事	曾根 泰樹	須 花	
理 事	森 和憲	マリンガーデン		理 事	若宮 正敏	桃 山	
理 事	林 修三	神 田 下		理 事	真鍋 亮	本 村 中	
理 事	磯崎 晴輝	田 井		理 事	塩田 哲夫	本 村 上	
理 事	野中 清孝	塩生ヶ原		理 事	横山 正	須 田 西	
理 事	湊 洋司	波 止 艾		理 事	小林 和弘	塩 生	
理 事	宮本 昌臣	不 天		理 事	田坪 芳一	名 部 戸	
監 事	水口 健二	北 浦		監 事	石川 富嗣	池 尻	
監 事	大森 善夫	大 浜		監 事	大坪 弘一	鴨 之 越	

お知らせ

資源回収のお知らせ

令和7年【第2回】

●10月 5日(日)／第1・2分館

●10月12日(日)／第3・4分館

●10月19日(日)／第5・6分館

令和8年【第3回】

●2月 1日(日)／第1・2分館

●2月 8日(日)／第3・4分館

●2月15日(日)／第5・6分館

※荒天延期の場合は、第5・6分館が
終わった後の日曜日に行います。

令和7年度活動事業計画

移譲業務

自主事業

魅力度
向上部会

健康度
向上部会

安全度
向上部会

・三豊市自治会連合会詫間支部事務局

・三豊市地区衛生組織連合会詫間支部事務局

・防犯・防災事業

・公共施設管理事業

・環境美化活動推進

・防災フェスタ開催

・業務受託（紫雲山桜まつり協賛会・花と浦島イベント実行委員会・三豊たくま港まつり協賛会）

・広報・公聴活動

・紫雲の里竜宮

・健康づくり推進

・「まち歩きで創る人の輪」推進

・防災活動推進

・交通安全教育支援

・志々島活性化

・里山巡り健康推進

・健康農園管理

・まちの魅力づくり発信拠点

・ふるさと文化継承推進

・デジタル社会に適応するための共助

栗島子どもガイド 育成プログラム

令和7年5月18日(日)
令和7年6月15日(日)

秋から始まる「瀬戸内国際芸術祭・秋会期」に向けて、栗島や詫間の魅力を来島者に伝えるための「栗島子どもガイド」育成プログラムがスタートしました！第1回は志々島を訪れ、大楠や島の歴史を学び、詫間町民俗資料館では三豊市の古墳や土器など地域の歴史に触れました。第2回は栗島の城山に登り、沢山の発見がありました。



第3回 たくまるしえ 初心者向けスマホ教室

令和7年6月1日(日)

大浜スイーツアカデミーにて、第3回たくまるしえが開催されました。**合計31店舗が出店！約800人が訪れました。**詫間町吹奏楽団の演奏で盛り上がりしました。「初心者向けスマホ教室も同時開催し、のべ18人が参加。スマホの使い方やお悩みにデジタル推進委員が答えました。



志々島大楠清掃

令和7年6月3日(火)

まちづくり推進隊詫間と詫間町公民館共催で大楠清掃を行いました。また、三野町公民館、豊中町の志保山の会、その他、里山の会の皆さん、志々島の皆さんも加わり総勢59人で、大楠周辺、楠の倉周辺、横尾の辻周辺に分かれて草刈作業を中心に行いました。暑い中、体調管理に気を配りながら、みな熱心に作業に取り組まれました。このような地道な清掃活動の継続の大切さを実感し、この活動を維持して地域を守っていくことの大変さを、身をもって感じる一日となりました。帰りの船中では、みな疲労よりも達成感あふれる清々しい表情が印象的でした。



「交通事故死ゼロを目指す日」キャンペーンの実施について

令和7年4月10日(木)

「春の全国交通安全運動」の一環として、朝7時30分から、マリンウェーブ近くの交差点にて県下一斉の交通安全キャンペーンを実施しました。

当日は、総勢32名が参加し、交通安全を願って旗を掲げながら街頭に立ち、地域のドライバーや自転車通学の学生、歩行者に安全運転の大切さを呼びかけました。この取り組みを通じて、地域住民の交通安全意識がさらに向上し、悲惨な事故を未然に防ぐことを目指します。今後とも引き続き、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



〈指定管理業務終了のお知らせ〉令和7年3月31日をもって、松崎コミュニティセンターの指定管理業務を終了致しました。
お問い合わせ先／三豊市総務部管財課：TEL.0875-73-3003